

Okahata

NEWS LETTER

Business updates, new ideas and more
from Okahata

2022

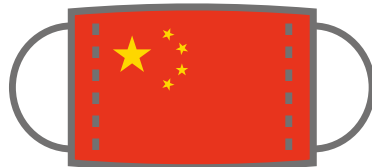
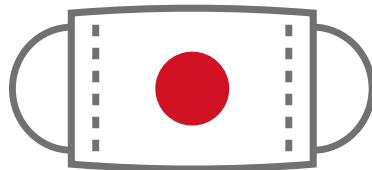
01

北京オリンピック直前

コロナ対策

日中韓 徹底比較!

居酒屋談義的比較論



コロナ対策の日中韓、 会えない今だからこそ、 居酒屋談義的比較論



雑談にも本気です。




社長の隔離日記・・・

新年早々、オミクロンの洗礼を受けまして。うちの小2クラス全員がPCR検査を受けることになり、家族みんなで検査と自主隔離しておりました。岡畑典裕です。(結果は全員陰性、ほっ。それにしても、学校の先生は本当に大変。教育者の皆さんには、ホント頭が下がります!)

今月は北京オリンピック直前企画。中、韓、日のコロナ対策の違いを、会えないからこそ、居酒屋談義っぽく!

まずは、感染者/死者/ブースター接種率の比較から。

感染者数とワクチン接種 (1/19付け)

国	当日感染者	死者	3回目接種者
中国 	66人	0人	23%
韓国 	6,601	28	46%
日本 	41,370	15	1%

スゴい!

韓中のブースター接種への気迫と、日本なにやってたん感が、凄すぎます。(66って・・・)

韓中コロナ対策の 共通点 と 違い



日本、中国、韓国のワクチンパスポート

共通点 ▶ その1 ワクチンパスポート!

レストランや交通機関で、厳しい行動管理を実施。

違い ▶ その1 隔離日数

ゼロコロナか、Withコロナという考え方の違いが出るのが、濃厚接触者の隔離日数。

韓国:

人の動きを止めないスピード対応で、**陰性判定→即解放**。

中国:

濃厚接触者の濃厚接触者でさえ、陰性判定→3週間隔離 (ホテル2週間+自宅1週間)。その過酷なホテル隔離の様子は、ゼロコロナ隔離日記にて。 [Link▶▶ 興産ブログへ](#)

違い その2 ワクパスの適用施設

韓国:

防疫パスは、**レストラン・カフェの入店管理**にほぼ一点集中。QRチェックインなしで外食は不可能。人数制限も徹底（今は6名）かつ、違反者はお店とお客さん双方罰せられます。交通機関は、対象外。乗り物は、マスク着用と飲食禁止の徹底で、という考え方。（釜山出張時にKTX車内で食べられないのキツイ、とOKK社員はぼやいております 笑）

中国:

健康コードは、高速鉄道、飛行機、長距離バスが対象（うちの総経理がこれで隔離を食らいました）。レストラン入店には使われず、人数制限もなし。

▶▶ 防疫パスは、今月の特集記事で!

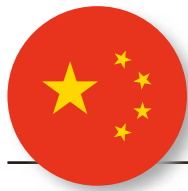
最後に!

共通点 その2

韓中ともに、**在宅勤務とWeb会議は全く普及していません**。この点だけは、日本人は意外に合理的なのかもしれない。なんか不思議。

ブースター接種と防疫パスを武器に、実は着実にWithコロナへ移行中な韓国。ゼロコロナ徹底の中国。そして、ビジョンなき日本（行き当たりばったりを現場力で正当化する、いつものパターン涙）の好対照。

さて、今月の特集記事、中国、韓国からの生々しい現地エピソード満載です、お楽しみに。



中国編

〈ゼロコロナ隔離日記〉と、
旧正月前の
ピリピリ上海生活のリアルを。

岡畑



弊社上海総経理の徐が、湖南出張帰りの新幹線で濃厚接触者と乗り合わせ、あれよあれよと、ホテル隔離まで、というのは前回ONLにて。その顛末を、ゼロコロナ隔離日記にて。

[Link▶▶ ゼロコロナ隔離日記](#)

迷作!

“自由“の女神のオチが最高なのは置いておいて、濃厚接触者と同じ車輦(位置関係は不明)に乗ってただけで、3週間(ホテル2週間+その後自宅1週間)隔離ってやっぱキツイ。

天津(1400万人)全員PCR検査、西安(1300万人)ロックダウンはニュースになりましたが、我らが上海(2500万人!)って?張魏が以下、レポートします。

張



ピンポイント対策と、厳しい追跡。

2021年12月までの過去1年間の上海のコロナ感染で隔離した濃厚接触者1400人、隔離した間接接触者5039人(弊社総経理がそのひとり?)、強制PCR検査43万人。直近では、2022

年1月に上海静安区で新たに感染者5名を発見、接触可能性がある54,741人全員PCR検査。結果、封鎖したのは、飲食店1軒だけ(20㎡)で、隣の店は通常営業。西安、天津での大規模封鎖よりも、随分ピンポイントな上海政府の対応には、上海市民からも上々の評価。

ちなみに、私(張魏)は山東省出身。今年の春節は故郷に帰れるか未だに分かりません。上海から来たら48時間以内のPCR陰性証明、飛行機から降りた後にもう一度PCR検査を求められます。5名の感染者が出た上海静安区に住んでいたら、その時点で14日間隔離対象決定。飛行機でコロナ感染の疑いがある人と乗り合わせても、14日間隔離の対象です。春節で親族に会う楽しみと、隔離リスクを天秤にかけると、上海政府は春節は上海で、と推奨はしておりますが、規制はかけておらず、飛行機には乗れそうですが、さてその先は…

徐



実は、通勤も大変です…

5名感染の
あった

上海のベッドタウン江蘇省昆山市から静安区の駅で乗り換えて通勤している弊社社員。先日、昆山衛生局から電話があり、上海から自宅に帰ったら14日の隔離が必要と連絡を受けまして…え?駅で乗り換えただけで隔離?結局、同僚は家に戻らず、会社近くのホテルで暫く住むことを決めました。上海のビジネスホテルで春節を迎えるかも。。。もうほんと、泣くしかありません。

(文章:OKS徐、OKS張)



韓国編

防疫パスと、韓国の今



スマホ大国ならではの”防疫パス”。このアプリには、個人のワクチン接種データ、PCR検査結果が記録されており、レストランに入る際は、このアプリでのチェックインが義務づけ（違反すると本人、店側双方にペナルティ）。弊社社員曰く、年配の方々も使いこなすし、これなしでは、買い物さえままならない位。アプリはクラスター発生場所を国民に知らせたり、密接者（日本で言う濃厚接触者）のトレースにも使われています。施設利用履歴も残るので、感染者と施設・時間を共にしていた人は国がばっちり特定。”**どこで誰と飲んだかもバレバレ**”とは社員談（笑）。密接者は、すぐにPCR検査が課せられます。ただ、陰性が証明された時点で自宅待機などの行動制限は一切解除。この厳格な管理と合理主義のコントラストは、興味深く、奥深い。。。

そんな抑え込み先進国、韓国でも、昨年11月に行動制限緩和”Withコロナ政策”直後、感染者急増（12月中旬、7000名/1日）。旧正月に向けて、再引き締めが入り、**今は、飲食店営業時間を午後9時まで**に制限、**人数も厳格に6名まで**。百貨店や大型のスーパーを訪れる際に、防疫パスが義務づけされましたが、国民の猛反対を受け、すぐに撤回。厳格な管理を求める国と、自由を求める国民の綱引きは続いているようです。

とはいえ、ベースの防疫パス管理が徹底しているので、少し引き締めると、感染拡大はアンダーコントロール。さすがです。

さて、最近の韓国トピックス。長引くコロナ禍で海外旅行へ行けない人達が済州島にリゾートを求め殺到、ホテル代が高騰。ビジネスパーソンの人流も活発で、KTX(韓国新幹線)は満席で乗れない事も。この時期になにもKTXで遠方に出かけなくても?とも思っちゃいますが、韓国では今でもWeb面談を殆どしないんです。ネットが盛んな韓国イメージとは違い、ちょっと意外。殆どのお客さんとは対面で商談、それ以外は電話で事足りているといった感。というか、**お客さんにWeb面談を申し入れようものなら、”直接会いに来い”と言われる始末**。ほぼ100%出社の韓国と、リモートワークも使い分ける日本の状況とはちょっと違うようです。ただ、Okahata Koreaのメンバーは日本のメーカー様とWebを使い倒しているので、Webでの打ち合わせはWelcome、いつでもお申し付けください!

(文章:坂出、協力:OKK林、OKK河、OKK張)

今月のコンテンツ

／ 仕事もちゃんとやっています ／

■ Twitterはじめました

[LINK ▶](#) @okahatachemical

■ 創業記念日動画

 <https://www.youtube.com/watch?v=x1Pb2z0pLRs>

■ 1月の注目ブログ

菅澤の、ややこしいアジアソーシングできます!

[LINK ▶](#) <https://okahata.co.jp/blog/information/contract-proposal>

くつナビ:

● カーボンプレート入りシューズの仕組みや特徴について

[LINK ▶](#) <https://okahata.co.jp/kutsunavi/about-carbonplate-runningshoes/>

● SDGs:生分解性樹脂編

[LINK ▶](#) <https://okahata.co.jp/kutsunavi/about-biodegradable-plastic/>

■ 編集後記

ACTION

(社内報Gazette2022年1月号より転載)

大みそかはベートーヴェンの第一から第九まで全交響曲一挙放送、年始は大好きな「英国ミステリー」を見続けるという怠惰な年末・年始を過ごしました。ここ数年、新入学に必要なランドセルや制服が買えずに不安を抱えている子どもたちへの「入学応援カンパ」が新年の事始めとなっています。寄付を終えると何となく新しい年が始まったな~という気分になります。

昨年の「GAZETTE」6月号にOKSの任 維萍さんが、ユニセフの「マンスリーサポート・プログラム」で世界の恵まれない子供たちのために寄付を続けていることを書いてくださいました。また、10月号には山口真吾(MSD)さんが、「高校生1万人署名」に参加されていたことに触れています。そういった社会活動に興味を持ち行動している人々がOKHグループにいること、そして共に働くことを嬉しく思います。

ユニセフの「マンスリーサポート・プログラム」は有名ですが、「高校生1万人署名」は、2001年に高校生が立ち上げた「核兵器廃絶と平和な世界の実現をめざす」署名運動です。署名活動のOB達が留学先で広げたり、交流を続けているフィリピン・韓国の高校生が現地で活動するなど、署名活動は世界へ広がっています。2018年から毎年ノーベル平和賞にもノミネートされており、彼らの活動が日本より世界で広く知られているのは、被爆国日本にとっては皮肉な話です。

イギリスの慈善団体「チャリティーズ・エイド・ファンデーション(CAF)」が毎年発表するWorld Giving Indexという報告書があります。114カ国12万超の人々への電話インタビューをベースにしたもので、質問は、この1カ月の間に、「助けを必要としている見知らぬ人を助けたか」「寄付をしたか」「ボランティアをしたか」の3つです。2021年に発表されたレポートには、「2020年、世界では、過去最高の数の人が見知らぬ人を助けた」とあり、その数は世界の成人の55%にのぼるといいます。コロナ禍が世界の人々の「共助の精神」に灯をつけたのかもしれない。

国別ランキングの第一位はインドネシアで、2020年には10人中8人超が寄付を行い、ボランティア活動をした人々は世界平均の3倍を超えたそうです。国民性のなせる業でしょうか、インドネシアの皆さんの助け合いの精神には頭が下がります。さて、日本はというと、114カ国中114位(3項目とも大差をつけて最下位)。「人助けはお上がするもの」「寄付する余裕なんてない(と言いつつも「ふるさと納税」にはご執心)」などの言い訳よりも求められているのは、ACTION。

アインシュタインの“The world is a dangerous place, not because of those who do evil, but because of those who look on and do nothing.”をかみしめつつ、今年も投稿、読後感(感心、笑い、涙 etc.)よろしく願いいたします。(kiki)

ニュースレター バックナンバーはこちら

LINK ▶ <https://okahata.wixsite.com/oksite/onl>

ホームページでパートナー登録いただければ、ダウンロードできるようになりました。

LINK ▶ https://okahata.co.jp/onl_member/login.php

岡畑興産株式会社 ニュースレター／毎月発行

2022年1月28日号

発行：岡畑 典裕

岡畑興産株式会社

大阪府大阪市中央区島之内1-5-6

TEL：06-6251-8252 FAX：06-6251-8278

Okahata
OKAHATA&CO.,LTD

OKAHATA NEWS LETTER
2022.1.28 / Issue 020

© 2022 オカハタとアイデアと